

第1回高知県事前復興まちづくり計画策定指針検討会

高知県における 事前復興まちづくり計画策定の基本理念

令和3年2月20日
検討会事務局（高知県南海トラフ地震対策課）

事前復興まちづくり計画策定の基本理念

～目指す姿をどのように構成し、表現すべきか～

復興まちづくりのイメージ

生活を
再建する

- ◇家族・住まい
- ◇地域コミュニティ
- ◇地域に住み続ける

命を守る

- ◇津波はいつかまた来る
- ◇想定しうる最大の津波

市街地の形成

農業集落

漁業集落

歴史・文化を
継承する

- ◇築かれた歴史
- ◇継承された文化
- ◇ふるさとの風景

地域の課題等の解決
につなげる

- ◇人口減少
- ◇少子高齢化
- ◇担い手不足 など

なりわいを
再生する

- ◇沿岸域の恵み
- ◇活力・希望
- ◇生産基盤
- ◇観光資源
- ◇物流

高知県における事前復興まちづくり計画策定の基本理念

基本理念

◆ 目指す姿

被災前に復興まちづくり計画を策定しておくことで、住民が希望を持って、住み続けることができるまちづくりを早期に実現する

◆ 5つの柱

1. 命を守る

- ◇なんとしても人命を守る安全で安心な地域づくり
⇒再び被災したとしても人命が失われないことを最重視し、ハード・ソフトの施策を組み合わせたまちづくり

2. 生活を再建する

- ◇地域の主体的な考え方により暮らしとコミュニティを再建する
⇒誰もが再び日々の生活を取り戻すことができる被災者一人ひとりに寄り添う復興を目指す

3. なりわいを再生する

- ◇地形や気候を活かしたなりわいを早急に再生し、地域に住み続ける基盤を築く
⇒多様な資源や潜在的な可能性など地域の特性を生かした復興の実現

4. 歴史・文化を継承する

- ◇脈々と地域に根ざした歴史や文化など地域の資源を次世代に継承する
⇒「ふるさと」に愛着を持ち、暮らし続けていくうえで、心の支えとなる歴史・文化を大切にする地域づくり

5. 地域の課題等の解決につなげる

- ◇地域の課題やグローバルな課題等を解決する先進的なまちづくり
⇒人口減少、少子高齢化、担い手不足などの諸課題を解決する先進的なまちづくり

復興まちづくり計画の基本的な考え方

1. 命を守るために

- ◇庁舎、学校等の災害対策の拠点となる施設は浸水しないエリアへの配置を基本とする。
- ◇居住地は浸水しないエリアへの配置を基本とする。ただし、被害想定や市街地の立地状況等から現地再建が望ましい地域は、多重防護により津波浸水を抑え居住することとする。
- ◇店舗や工場等の施設は、地域産業の早期再建の観点から低地利用する場合には避難対策が前提となる。

2. 生活を再建するために

- ◇新しいまちは可能な限り既存のまちの近くに整備し道路網や公共交通を確保する。
- ◇点在する複数の小規模集落については、公共サービス維持の観点から集約化も視野に入れつつ、既存コミュニティの再建を踏まえて復興を検討する。

3. なりわいを再生するために

- ◇店舗や工場等の居住を伴わない事業系の施設は、地域産業の早期再建の観点から津波浸水を許容した土地利用も検討する。
- ◇農業・漁業集落は、命を守るために職・住の分離も視野に検討する必要がある。なりわいと暮らしが深く関わるため、住みやすさと働きやすさを考慮して宅地や農地を配置する。

4. 歴史・文化を継承するために

- ◇歴史や文化などの地域資源を地域の心の支えとなるシンボルとして再生・活用する。

5. 地域の課題等の解決につなげるために

- ◇公共サービスの維持などのために集約による住みやすいまちづくりや、高度化した情報通信技術等による新しい生活スタイルも踏まえ、以前より住みやすいまちづくりを目指す。
- ◇持続可能な社会の実現を目指した視点等を盛り込む。